

共利群生の もりをめざして



令和元年度 献木植樹祭

なんぼう ひとた いくせんねん しようはく となり ぎんかん まえ
「南峰に独り立つ幾千年ぞ 松柏を隣とす銀漢の前」『性靈集卷一』

この詩はお大師さまが高野山の大自然を讃えた叙情詩のひとつです。南峰とは京都の南方に位置する高野山を意味しています。

松柏とは松や檜などの針葉樹を指し、銀漢とは天の川のことです。

天の川がくっきりと漆黒の大空を飾り、杉や檜、高野櫟や松などの大木が聳える傍らで大自然と一如になる感慨が込められています。一二〇〇年前、お大師さまが真言密教の根本道場として高野山をお開きになったのは、大自然のエネルギーと精神性が充満した類い希なる場所であったからに他なりません。その後、数え切れないほど多くの参拝者が高野山を訪れ、幾千年もの時間の流れや大自然のエネルギーを感じました。

それは、冒頭の叙情詩にあらわされているお大師さまの感慨そのものであります。

金剛峯寺はこれからも大自然のエネルギーと精神性に充満した信仰環境を守り続けるため、「森厳護持」の大道を歩み続けます。

是非、四季折々の高野山にお越しいただき、大自然と一緒にとなって深い精神性を感じていただくことをおすすめします。

ひとりでも多くの方が、お大師さまと同じ感慨にひたことができることを願ってやみません。

総本山金剛峯寺 山林部長 山口文章



高野山の豊かな森を後世に



2020
第17号

FREE
PAPER

共利群生のもりをめざして 2020 第17号

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部

TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640

E-mail sanrinka@koyasan.or.jp

※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報ください。

献木について

【記念品のご案内】

○ 一口(1,000円)
・限定箸セット

○ 五口(5,000円)
・五色腕輪念珠一連

○ 高野靈木カレンダー一本

高野山真言宗管長 総本山金剛峯寺第四百十四世座主 葛西光義大僧正猊下御染筆

福寿

吉慶年次

年賀状

高野山の僧侶の法話を
パソコンやスマートフォンで
気軽にご覧ください。

YouTube

高野山
の
法
話



高野靈木 五色腕輪念珠
男女兼用



高野靈木千支カレンダー 短冊付 (限定 1,000本)

※尚、カレンダーの販売は代引でのみ行っています。

高野靈木記念品 五〇〇セット
フリーペーパー読者限定

五膳入り箸セットのご案内

子供たちが林業体験の中で間伐したヒノキを使用して箸セットを作成しました。

同封の専用振替用紙にて一口二,000円の献木記念品に追加させていただきます。

五〇〇セット限定で、なくなりしだい終了となりますのでご理解願います。

このフリーペーパーは献木運動にご協力いただいた皆さまに送付しています。

価格
1,000円

(+送料)



『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。

郵便振替口座: 大阪 00930-6-61758

ゆうちょ銀行: 〇九九支店 当0061758

加入者名: 宗教法人 金剛峯寺山林部

参 与 会

高野山は多くの緑に囲まれ大変広い山林を有しています。

山林部では、皆さまに安心して高野山の大自然を満喫して頂けるよう山林護持・境内林整備を行っています。

そこで、整備された森林を満喫して頂こうと令和元年9月に参与会の方々に森林セラピーの体験をして頂きました。

多くの会員の皆さまにご参加頂き、一の橋から奥之院までの散策と、木漏れ日の中でのハンモック体験など日頃経験出来ない事を体験して頂き、皆さまに喜んで頂きました。

本年も森林セラピーを企画致しますので、ぜひ皆さまにもご参加頂きたいと思います。

また、樹木医と相談しながら大師教会の大松の治療を行いました。

一時は立ち枯れが心配になるほどの傷みがありましたが、治療を施することで徐々にではありますのが生き生きとしてきました。参拝頂いた方々の目を楽しませてくれています。

この様な整備事業は、「お大師さまのファンクラブ」高野山真言宗参与会の協力を頂き実施しています。

参与会では、定期的に講習会を開催しています。

会員以外の方にも参加頂ける講習会も多くありますので、この機会にホームページなどをご覧頂きお気軽にご参加下さい。



コウヤハ

花言葉は「心の美しさ」です。



作業道



木材運搬車(フォワーダ)



ユンボによる集材



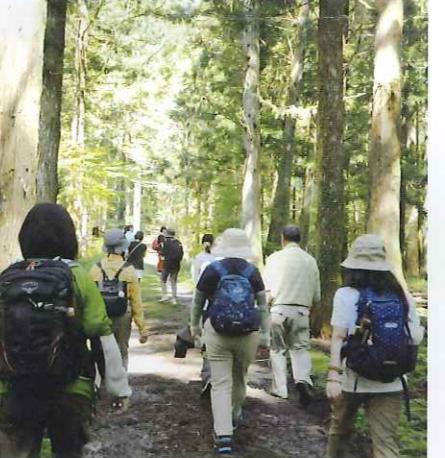
架線(ラジキャリ)



ユンボによる玉切り

高野山銘木の跡をたずねる (コウヤと名のつく植物) コウヤハンショウヅル

6月の高野山、小鳥たちのさえずりが森に降りそそいでいます。そのころ林縁にひつそりと咲いているつる性の植物が、コウヤハンショウヅルです。花の色は赤紫、形はつりがね状で花の付け根には花を包み込むように萼(がく)に似た総包がついたとてもかわいい花です。九州・四国・紀伊半島と帶状に連なる地域の個体「襲速紀」(ソハヤキ)要素の植物で「コウヤ」と名前がつけられています。しかし最近ではすっかり激減し、写真の様な株を見つけるのは困難となっています。



森林セラピーの様子



ハンモック体験

境 内 林 整 備 委 託 事 業



高野山寺領森林組合に毎年約30ヘクタール程の搬出間伐を依頼しております。

搬出間伐には、作業道を開設し木材運搬車(フォワーダ)と云う機械で搬出する方法と、架線(ラジキャリ)と云う機械を張り集材する方法があります。

搬出された木材は、木材市場、各寺院、さまざまな所に出荷されます。

このようにして、金剛峯寺の森林が維持管理及び守られています。



環境省ブースの木でできた「スーパーカー」

ちょっと
え
話

「先見の明」あり

2019東京モーターショーにて環境省がブースを開催し、木から作る自動車が出品されました。強度は鉄の5倍、重量は5分の1という新素材で車の重量2割軽減、燃費は1割向上しCO₂削減といいことずくめのスーパーカーです。京都大学で研究されたセルロースナノファイバーという新素材が使われています。京都大学の教授は「20世紀は化石資源・石油資源の物づくり社会。21世紀は植物資源で物をつくる時代となる」と言っています。

そして新国立競技場がお披露目されました。この建物には木がふんだんに使われています。木材の技術開発は進み、耐火・耐久性能が上がり最先端な材となりました。「21世紀は木の世紀になる」と建築家が言っていたのが印象的でした。両者ともに先を見据えています。この100年で木の使われ方が大きく変わることはまちがい無いですね。